



進級、入学おめでとうございます。

校長 鈴木 康史

暖かな4月を迎え、新たな年度の始まりを祝ってくれています。三保小学校に着任して4年目となりますが、新たな気持ちで地域と共に歩む学校として、教職員とともに学校づくりに励みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年も「楽しくやる 楽しくなるようにやる」をキャッチフレーズに、勝手に楽しんだり楽しくしてもらおうと待っていたりするのではなく、楽しくやるにはどうすべきなのかを考えて取り組み、自分だけが楽しいのではなくみんなが楽しくなるようにがんばってほしいと思っています。

本校は、2025年7月にユネスコスクールとして正式に認定されました。ユネスコスクールでは、教育の質を向上させ、持続可能な社会の実現に寄与することを目指して、2023年に14の指導目標が設定されています。これは、平和と人権、国際理解、協力、基本的自由、グローバル・シティズンシップ、持続可能な開発のための教育に関する勧告に基づいています。学校生活を通じて、個々の生徒が自分で考え、仲間と協働して問題を見出し、解決を図る態度を醸成することや、総合的な学習の時間や学校行事において、持続可能な社会や平和など、世界が共通に抱える課題に対し、何ができるかを考える機会を与えることなどが求められています。今年は、これに沿ってシリーズで考えていきたいと思っています。

Common good
教育はみんなのもの
誰もが受けられるもの

質の高い教育は公共財及び共有財であり、全ての
人々にとって利用可能であるべきことを認識する
こと。

⇒SDG4「質の高い教育を みんなに」

世界には飢餓状態や戦争などで教育が受けられない子どもたちがいる一方で、日本では教育を受ける権利が保障されていますが、コロナ禍を機に従来のような学び方がままならない傾向が増えてきています。1人1台のタブレット端末が普及したことは、利点もありますが機器依存や情報リテラシーの醸成、教育がIT産業の顧客囲い込みの場になっているのではないかなどというような批判も出てきています。学校で他者と共に学ぶという機会を貴重なことと捉えて、新しい仲間や新しい先生たちとこの一年をしっかりやっていきましょう。